第342回狛江市行財政改革推進本部会議会議録

１　日　時　　平成30年９月27日（木）午前８時56分～９時７分

２　場　所　　市長公室

３　出席者　　本部長　松原市長　　　　　副本部長　水野副市長
　　　　　　　副本部長　有馬教育長　　　本部員　石森参与兼児童青少年部長
　　　　　　　本部員　髙橋企画財政部長　本部員　上田総務部長
　　　　　　　本部員　石橋福祉保健部長　本部員　清水環境部長
　　　　　　　本部員　小俣都市建設部長　本部員　小川議会事務局長
　　　　　　　本部員　平林教育部長
　　　　　　　事務局　田部井政策室長　　池田企画調整担当主任

４　欠席者　　本部員　榎本市民生活部長

５　議　題　　１．平成30年度狛江市外部評価委員会提言書について
　　　　　　　２．その他

６　会議概要

本 部 長　それでは，議題１「平成30年度狛江市外部評価委員会提言書について」説明をお願いする。

事 務 局　９月19日に狛江市外部評価委員会委員長から市長へ答申があったので報告する。

　まず，２ページの「３　委員会活動内容」について，今年度の外部評価委員会は５月28日の第１回から始まり，評価対象事業担当部署の協力のもと，３日間のヒアリングを含む計７回の委員会が開催された。

　３ページから６ページまでの「４　評価対象分野及び事業の選定」について，今年度の評価対象事業である５事業の選定経緯が記載されている。なお，６月５日の行財政改革推進本部会議において，６事業を選定した旨を報告したが，「古布再生事業」については，選定後に，市としての予算が伴わず，かつ，市民が主体となって取り組んでいる事業であり，外部評価の対象事業として適当ではないことが確認できたため，委員会での審議により，評価対象事業から除くことと決定した。また，内部評価結果報告書においても同様に評価対象外とした。

　７ページから９ページまでの「５　本論」が，提言内容となっている。全体を通した主な提言として，市民がこれまで以上に各事業に対する関心を持つような周知方法の工夫や，事業への参加者や関連団体が増加するような取組みの検討について，提言をいただいている。各部署においては，提言内容についての対応等を検討いただくとともに，来年度に予算措置が必要な場合は対応をお願いする。

10ページには「6　おわりに」,「7　狛江市外部評価委員会委員名簿」，11ページ以降は,「8　参考資料」となっている。

今後の予定だが，今回の内容について，広報こまえ及び市ホームページに掲載する。

また，来年２月に開催予定である外部評価委員会において，提言に対する検討結果を評価対象事業担当部署から直接報告していただきたいと考えているので，引き続き協力をお願いする。

最後になるが，今回の提言策定にあたっては，資料の作成や夜間のヒアリングへの参加等に協力いただき感謝申し上げる。

本 部 長　質問等はあるか。

本 部 員　市民目線で多角的に事業を評価することは意義のあることと思うが，委員と担当部署とのコミュニケーションのとり方に課題が見られた。より深堀りした議論を行うために，現場を見たりすることで，正確な評価ができるのではないか。委員においては事業の実状や詳細を知ってもらうための努力や，事務局においても委員と担当部署との円滑なコミュニケーションを図っていく必要があると考える。

本 部 長　委員への説明に当たっては，映像を活用する等、積極的な情報提供を行うよう工夫してもらいたい。

本 部 員　狛江市外部評価委員会運営規則において，公募市民委員が７人以内となっているが，現在は５人であるため，今後は無作為抽出の希望者で補充する等柔軟な対応をお願いする。

副本部長　各事業において，更に事業を深めていくよう提言をいただいているものに関しては，関係機関との調整等，各課においてどのように対応できるか検討をお願いする。

本 部 長　他に意見等がなければ，行財政改革推進本部会議として了承することとし，第342回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。